

39期運輸安全マネジメント結果報告

平成26年10月31日

・わが社の事故防止のための安全方針

- ・安全輸送は取引先への信頼。思いやり、譲り合いの安全運転、安全作業

・安全方針に基づく結果(39期の成果)

- ① 目標通り人身事故、労災事故ともにゼロであった
- ② 残念ながら車両事故、商品破損が数件発生した(内訳は以下に)
 - 高さを見誤り天井を擦る事故-2件
 - 自社構内で高さを見誤りシッター袋を押し潰す事故-1件
 - 車止めを怠り、コンビニ駐車場でポールにあたる事故-1件
 - 観音扉を開けたままバックし、プラットフォームに接触する事故-1件
 - 自社構内で車両を移動中、他の車両に接触した事故-1件
 - 台車で品物を配達中、荷物が落下し歩行者の脚に接触させる事故-1件
 - 誤配-3件
 - 商品破損-12件(ほとんどが卵がオコンの中で割れていた)

幸いなことに大きな事故には至っていないが、もう一度気を引き締めて40期に臨みたい。

・目標達成のための計画に対する検証

- 安全教育計画
- ①安全運転講習の受講を計画する
 - 全ドライバーを受講させることは出来なかったが、定例ミーティングでフォローした
 - ②適性診断受講を計画する
 - 全ドライバーを受講させた
 - ③ヒヤリハット、荷扱いについて話し合いの場を計画する
 - なかなか全員が集合することができないので個別にしか対応できなかった

- 安全車両計画
- ①運行前点検のより一層の徹底を継続する
 - ・毎週月曜日のオイル、水の点検の徹底
 - 確実にを行うことで故障が激減した
 - ②車止めの徹底
 - 自社構内では完璧だが、事故結果にもあるように外部での徹底具合が把握しきれいでいないので方策を考えたい
 - ③停車時すべてのスイッチ完全OFF
 - 排気やエアコンが入ったままのことがまだまだ多い。より一層啓発したい

・わが社における安全に関する情報交換方法

月1回、ドライバーとのミーティングにおいて、輸送安全についての意見交換を行なう。→昼夜の仕事の関係で、なかなか全ドライバーを集めることができず、注意事項の徹底ができていないのが現状である。40期で改善したい。